

## 横須賀市公立保育園再編実施計画（令和2年度～令和6年度）の概要（案）について

### 1 計画策定の目的・計画期間

多様な保育ニーズに対応しながら、公立保育園定員の拡充と財政の効率化を図ること等を目的として平成19年度に「横須賀市公立保育園再編計画」を策定し、そのアクションプランとして平成26年度に現在の「横須賀市公立保育園再編実施計画」を策定しました。

計画策定後は、平成27年度から質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的拡大・確保及び教育・保育の質的改善などを柱とした子ども・子育て支援新制度がスタートしました。

さらに令和元年10月からは、幼児教育・保育の無償化に関する制度が充実されるなど、幼児期の学校教育・保育に関して大きな制度改正が行われているとともに、依然として待機児童が生じている状況にあります。

本計画は、「横須賀市公立保育園再編計画」の具体的なアクションプランと位置付けている「横須賀市公立保育園再編実施計画」として、令和2年度から令和11年度の10年間の計画期間中の令和2年度から令和6年度（5年間）の内容を定めています。計画の遂行にあたっては、市民及び関係者の皆様のご理解を得ながら、「第2期横須賀子ども未来プラン」、「横須賀再興プラン」、「横須賀FM戦略プラン」などとの整合を図っていきます。

#### 【公立保育園再編のあり方】

- (1) 保育園定員の拡充と財政の効率化との両立
- (2) 多様な保育ニーズへの対応
- (3) 充実した保育を提供するための職員資質の向上

保育園へのニーズは多様化・拡大化され、官民を問わず、その対応を求められています。公立保育園では、これまで培ってきた経験を生かした保育や、関係機関との連携を密にした子育て支援、さらには「保育を必要とする児童や家庭」への支援を充実します。

また、私立保育園では、法人の特徴を生かした機動力ある保育の充実や、家庭と地域の子育て力が高まる様々な活動を展開していますが、なお一層の充実が図れるよう支援します。

このように官民の特徴を生かしながら、地域単位で必要な機能を持った公立保育園の充実を図り、民間に委ねることができる公立保育園は民営化を検討します。

このことにより、待機児童の解消と財政の効率化を両立し、公立保育園と私立保育園との携を強化するなど、横須賀市全体で児童やその家庭、さらには地域での子育て支援を充実します。

## 2 再編の方向性

### (1) 幼保連携型認定こども園として再配置する施設

- ① (仮称) 中央こども園 (令和4年度開園予定)
  - ・横須賀市職員厚生会館をこども園に改修し、上町・鶴が丘保育園を統合・移転
- ② (仮称) 南こども園
  - ・園舎を新築し、森崎・ハイランド保育園を統合・移転
- ③ (仮称) 北こども園
  - ・追浜地区に園舎を新築等し、追浜保育園を移転

### (2) 計画期間中(令和2年度～令和6年度)に民営化を実施する施設

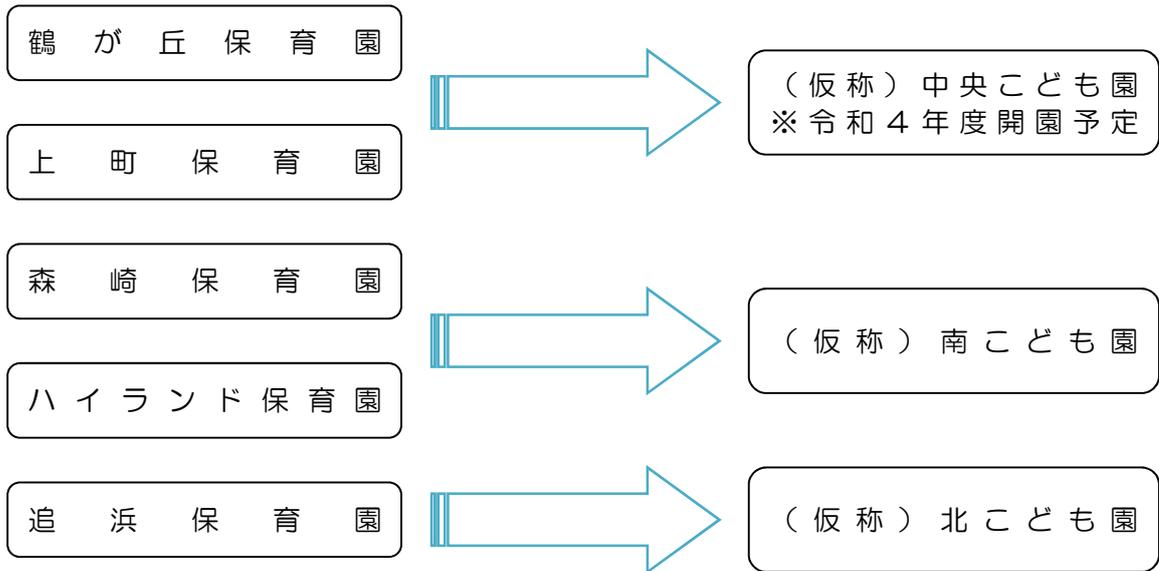
- ① 逸見保育園 (令和3年度民営化予定)
- ② 船越保育園
- ③ 田浦保育園

### (3) 当面の間は現状の運営を継続する施設

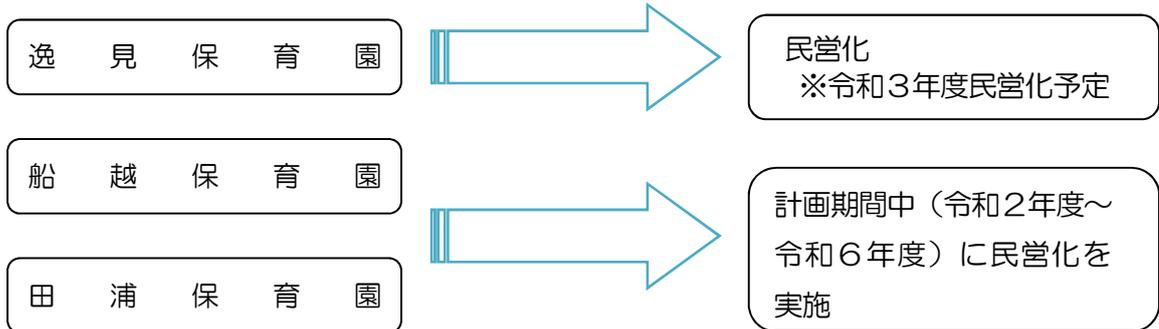
- ① 鴨居保育園
- ② 津久井保育園
- ③ 武山保育園

#### (4) 再編のイメージ

##### ◆幼保連携型認定こども園として再配置する施設



##### ◆計画期間中（令和2年度～令和6年度）に民営化を実施する施設



##### ◆当面の間は現状の運営を継続する施設

